

消防知識学び技術習得

県立大生12人 県が「応援隊」認定

県立大(総社市窪木) 援隊は2日、消防や防
習得する2016年度
公認サークルとして県
の認定を受けた。減少
傾向にある消防団員の
確保や地域防災力の向
上が狙い。



認定証を受け取る石塚さん(右から2人目)

認定は県が15年度に
始め、期間は1年。制
服の貸与や訓練用資材
の提供などが受けられ
る。県立大消防応援隊
は2年連続の認定。16
年度は、学内の公募で
集まった1〜4年12人
で構成している。

県立大で認定式があ
り、那須哲哉県消防保
安課長が「地域の防災
力が高まることを期待
している」と述べ、代
表の4年石塚寛隆さん
(21)に認定証を手渡し

た。石塚さんは「積極
的に活動し、消防の役
割をほかの学生にも伝
えていきたい」と決意
を語った。

今後、救命講習や若
手消防団員研修を受講
したり、学内や地域で
開かれる防災訓練に参
加したりする。防災士
の資格取得なども目指
す。

県は16年度、美作大
・短期大学の消防応
援隊(5人)も認定し
た。

県内の消防団員数は
16年4月現在、2万8
580人。

(古川和宏)